

（株）NTT西日本アセット・プランニング九州支店

遊休地利活用を成功に導く 最適プラン

福岡、沖縄でオフィスビル

「NTT西日本が所有する不動産のポテンシャルを最大限に生かした利活用」をミッションに掲げ、同社の遊休地を20年以上活用してきた（株）NTT西日本アセット・プランニング九州支店（福岡市博多区上川端町、鈴木信昭九州支店長）。これまで九州各地で複合商業店舗や集合賃貸住宅、駐車場を中心に開発してきた。

近年はオフィスビルを積極的に手がけており、20年3月、北九州・小倉城下で商人の町として知られた米町に、同社初の10階建てオフィス賃貸ビル「APエルテージ米町ビル」と4層5段の立体駐車場を建設、テナントには地場IT企業のYEDIGITAL、NTTドコモグループなどが入居し

た。今年6月には沖縄県浦添市城間4丁目に建設していた7階建てオフィスビル「APエルテージ城間ビル」が完成し、SCSK（東京都江東区）のグループ会社の拠点として現在稼働している。

「オフィスビルのブランド『エルテージ』は、ビルが建つエリアで働く人たちが輝けるステージになるように、という願いが込められている」と語る鈴木支店長。今後「も積極的にオフィスビルの開発を手がけていく方針で、「土地と建物があるから入居しませんか、というリーシングでなく、マーケティングの動向や顧客のニーズを事前に汲み取り、計画のコンセプトを明確にしていく。周辺のまちづくりにとって、何が一番良いのかを顧客と作り上げていきたい」と意気込みを語る。

熊本では複合ビル計画

こうした「まちづくり」と「マーケティング」の動向を組み合わせた開発方針は、現在熊本県内で進めている大規模プロジェクトの骨組みに大いに生かされている。

NTT西日本が「熊本支店桜町ビル」（熊本市中央区桜町）を解体し、その跡地にシテイホテルやオフィス、商業機能を持つ複合ビル建設を目指しており、同社は実働組織として計画の一翼を担う。開業は2025年度を予定、同市の制度「まちなか再生プロジェクト」

を活用し、隣接する「サクラマチクマモト」と外観で連続性を持たせるなど、周辺地域のにぎわいを創出していく方針だ。

経営環境が日々変化する昨今、所有する不動産の利活用は、企業にとって競争を生き抜く大きな動力源となる。遊休資産を利活用するための方法やサービスを提供している会社は数多く存在するが、NTT西日本グループとしての信頼力、開発実績を持つ同社の存在は、利活用を検討している企業にとって強い味方になることだろう。

NTT西日本AP

お客様がお持ちの不動産を活用してみませんか？

時代のニーズに合わせた付加価値をプラスして、お客様のスタイルに最適な不動産ソリューションをご提供します。



弊社は、不動産利活用のプロフェッショナルです。お客様からご要望いただければスタッフがご伺いたします。

株式会社NTT西日本アセット・プランニング
九州支店 TEL 092-263-6181

ホームページ <https://www.ntt-ap.co.jp/>